



学校ビオトープ

子供を中心とした学校ビオトープづくりの支援を行っております。
計画、設計、施工の全てを子供たちと一緒に進めていきます。

近年、子供たちを取り巻く環境は、身近な自然の喪失、仮想現実の横溢、人と人との心の触れ合いの減少など、悪化の一途をたどっているように見受けられます。そのため、子供たちに本来備わっている多様な好奇心やみずみずしい感性が発揮できず、豊かな人間性も育まれにくい事態に至っていると考えられます。そこで弊社では、そのような状況の改善に少しでもお役に立つため、学校ビオトープの展開を中心に環境教育の支援を行っております。多様な生物が棲む空間に身をおくと気持ちが和らぎ安らぎとゆとりを感じます。自然を体全体で感じることで、子供たちの感性や好奇心が刺激されることでしょう。

板橋区立三園小学校 学校ビオトープ



肌で触れ、心で感じ、体全体で味わえる自然

をコンセプトに、心地よい自然を学校に創ります。



花を摘み、草を掻き分け、虫を捕まえ、
時には生き物の命を絶ってしまったり・・・
それは古くから人間の生活と共に育まれてきた
「心地よい自然」だと私達は考えます。

ビオトープの造成

計画・設計



児童の計画図

それぞれのクラスで、ビオトープ計画案が作成された。それを、児童の代表のビオトープ実行委員がまとめ、児童案を作成した。

ビオトープ計画平面図

設計の打合せを児童と行い、児童案の説明を聞き、できる限りその案に合わせるように設計図を作成した。



設計の打合せ

作業開始



池底掘り

池の形の位置出しを子供と行い、地面の固い所は、作業に参加した保護者が掘った。



完成予想図（パース）



全体の整形



粘土張り

水際をしっかりと固めるために粘土を張り付けます。低学年に足で粘土を練り上げてもらい、高学年で張り付け作業をした。



土嚢設置

土嚢をしっかりと積上げるため、グループ分けをして、リーダーに積上げ方を指導して作業に取りかかった。



シート張り

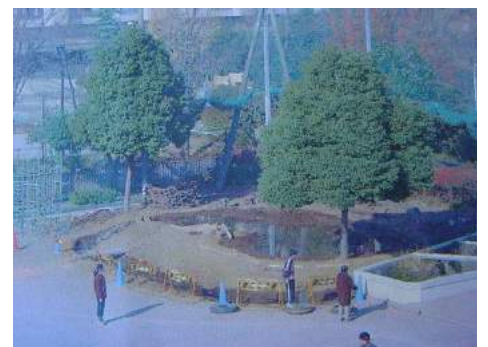
2年生 60名が、重さ約 120 kg もあるゴムシートを設置した。

施工完了



施工前

施工前の状況は、砂場、グラウンドのダスト舗装、クスノキ 2 本、生息する生き物はほとんどいない。



施工後（全景）

このビオトープは全学年（約350名）が計画、設計、施工に係りつくりあげたものです。

当社はサポート業務として、学童の作成した案を十分に反映させるよう設計し、施工においては総合学習の時間を利用し、子供たちの体力と好奇心に合わせた作業工程及びスケジュールを組み、材料の手配、作業指導を行ってきました。今後はこのビオトープを生活及び学習に活用していくため、教育面で更なるサポートを繰り広げていく予定です。

ビオトープの概要：敷地面積 約 180 m²、水域面積 約 60 m²、水深 0~50 cm、水源 雨水・水道水